

横断歩道のない場所

小1 女児はねられ大けが

小学生の交通事故は、入学や新学期の緊張がほぐれる**5月に急増、注意**

(2015年05月16日 18時18分)

16日午前9時50分ごろ、富山県の県道で、道路を横断していた小学1年生の女の子が左から来た乗用車にはねられ、足の骨を折る大けがをしました。車を運転していたのは、警察署の交番勤務の25歳の警察官で、16日は非番だったということです。現場には横断歩道はありませんでした。県警によりますと、小学生の交通事故は、入学や新学期の緊張がほぐれる5月に急増するため、注意を呼びかけています。

歩行者・自転車・バイクの確認！見えたら「先に行かせる」

停車してる車両(バス・タクシー・子供の送り迎えの車)から渡って来るかもしれない・・・、飛び出して来るかもしれない

バック時は 降りて確認 乗っても確認

追突、玉突き事事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」

平成27年 春の全国交通安全運動

期間:2015/5/11(月)～20(水)

大型トラックと自転車が衝突 小2女児死亡

駐車場にバックで入ろうとしていた大型トラック

2015年05月17日 18:23

17日午前9時前、愛知県で大型トラックと自転車に乗った7歳の女の子が衝突し、女の子が死亡しました。市道で、駐車場にバックで入ろうとしていた大型トラックと自転車に乗った女の子が衝突しました。この事故で近くに住む小学2年生の女児(7)が頭を引かれるなどして死亡し、トラックを運転していた会社員の男性容疑者(49)が過失運転致傷の疑いで現行犯逮捕されました。トラックは東京から運んできた紙を12トン積んでいたということです。

右からの横断者に注意

対向車や街灯のない道路では “上向きライト”

2015-5-18 6:00

ドライバーが反対車線から横断する歩行者に気付かず、はねてしまう交通事故が相次いでいる。ドライバーから見て右から横断してくる歩行者が関わる事故件数は、左からの横断や前方にいる歩行者の事例と比べて多い。被害者の大半が高齢者。

特に夜間は、ドライバーの注意が対向車のライトにいきやすく、対向車の後ろにいる歩行者の発見が遅れがちという。

車の下向きライトはやや左側に寄っており、右側が見えにくい。警察は「対向車や街灯のない道路で上向きライトを積極的に活用してほしい」と勧める。

歩行者は、手前の車線を横断する間に反対車線から車が間近に迫るといったケースが多い。高齢者は加齢で判断力や歩行速度が低下しているため、より注意が必要だ。警察は「余裕を持って、最短距離を横断してほしい」と話し、夜間事故予防策として夜光反射材着用を呼び掛けている

午後3時 自宅から道路に出ようとした5歳男児、死亡

2015年05月18日(月)5時56分

17日午後3時ごろ、東京都で近くに住む男児(5)が、自宅の駐車場から道路に出ようとしたところ、右方向から走って来た軽ワゴン車にはねられました。男児は病院に運ばれましたが、頭を強く打っていて、その後、死亡が確認されました。警視庁は、軽ワゴン車を運転していた無職の女性容疑者(47)を過失運転傷害の疑いで現行犯逮捕しました。